

清央小だより



令和7年度 第29号

2025. 12. 25

HP > <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教育目標

「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

・自ら学び工夫する子ども (考 える)

・元気でがんばる子ども (鍛 える)

・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

※ 学校の様子はホームページにも掲載しています。その際は、画像を一部加工することがあります。ぜひご覧ください。

今年も大変お世話になりました

今年、令和7年(2025年)も、本校教育活動等に関しまして、ご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。秋からのインフルエンザ流行にはまいりましたが、子供たちに大きな事故などなく過ごすことができました。

冬休み前朝会では、「1年の計は元旦にあり」ということで、子供たちに次のようなことを話しました。

日本の学校は、3月から4月がいわゆる「年度」の切り替えなので、4月1日からスタートと思う人もいるでしょう。それならば、何も1月に目標を立てなくても、4月に新しい学年になった時に立てれば同じことじゃないか、と思うかもしれません。確かにそれもあります。しかし、やはり1月1日に目標を立てて欲しいと思うのです。

なぜなら、次の学年に上がる3月まで残りの日々をどう過ごし、そして4月からの新しい学年に「つなげる」か、ということが大切だからです。

例えばです。

「9秒95」。これは男子100m走の日本記録です。山縣選手が出した記録です。陸上競技には4×100mリレーといって、100mを4人の選手がバトンをつないで走る競技があります。もし、山縣選手が4人いて、日本記録で100mを走ってリレーをすれば、9秒95×4で、「39秒8」が日本記録になるはずですが、実際はそうではありません。

男子4×100mリレーの日本記録は、「37秒43」です、日本記録4人分より速いのです。この記録は、絶好調の山縣選手が4人走ったわけでもなければ、4人全員が9秒台で走れる選手ではありません。それなのに、なぜ、速くなるのでしょうか。

100m走は、止まった状態からヨーイ、ドンです。バトンを止まってもらえば、リレーは、止まってバトンを渡すわけではありません。リレーでは、2人目からの選手がバトン进行う時には、すでにスタートを始めていて、走りながらバトンをもらいます。つまり、助走しながらつないでいく分、早くスタートしているのと同じなのです。



皆さんは、1・2・3月は次の学年に向けた「助走期間」と思ってください。そして、新しい学年になる4月から素晴らしいスタートを決めて欲しいと思います。

ということで、1月1日に、次の学年に上がるまでに頑張ること、できるようにしたいことをしっかりと目標に掲げ、その上で次の学年になったらどうしたいのか、何を頑張りたいのか、目標を立てて欲しいと思います。特に6年生の皆さんは、4月から中学生です。残りの3か月、6年間を振り返りながらしっかり助走できれば、スムーズに中学生へとつながっていくと思います。

来たる令和8年が、皆様にとって幸多き一年となりますように。

